

# 天神川を下りバラ園昆陽池伊丹緑道を歩く

第 183 回武庫川エコハイク

2022.7.9 エコグループ・武庫川

**武庫川** 全長 65km、流域面積 500km<sup>2</sup>。丹波篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川。2 級河川だが流域に阪神地帯を抱え流域人口では全国第 10 位である。「阪神間の母なる川」である。

**阪急中山観音駅** 明治 43(1910)年箕面有馬電気軌道(現阪急電鉄)の開通と同時に開設。阪急電鉄最古の駅の一つ。開業時の駅名は「中山寺駅」で、その後平成 25(2013)年に「中山観音駅」に改称。

**中山寺** 聖徳太子が仲哀天皇(ちゅうあい)の先后大仲媛とその子忍熊王の鎮魂のため創建されたと伝えられる。当初は現在の奥の院付近にあったが、荒木村重の乱の兵火に会い、秀吉の菩提をとむらうため秀頼が現在地に再建した。大門、本堂は当時のもの。また、我が国初の観音霊場で後に三十三観音霊場 24 番札所になる。境内には白鳥塚古墳があり、古墳時代後期の横穴式石室を持つ。忍熊王の廟とも伝えられ、かなり位の高い人物のものと思われる。本尊は木造十一面観音菩薩立像で国指定文化財。安産の寺として有名。

**巡礼街道** 西国三十三観音札所の巡礼街道。第 23 番勝尾寺(箕面市)と第 24 番中山寺につながる

**天満神社** 延元年間 14 世紀初めに創建された菅原道真を祀った神社(他では天満宮と呼ばれるのに、ここでは何故か天満神社)。地元では「西の宮さん」と呼ばれている、「東の宮さん」は松尾神社です。本殿は、一間社春日造りで寛文 5(1665)年に再建されたと伝えられ宝塚市の指定文化財となっている。境内摂社には「**稻荷神社**」があり、社殿の前に朱塗りの鳥居が並び、参道には奈良時代の僧行基がこの辺りの通りすがり通行の邪魔になっていた大石を杖で飛ばしたという伝承の「**行基の投げ石**」がある。そばに「**イチイガシ**」の巨樹保護樹がある。

**天神川** 水源は長尾山(中山五月台)中山最高峰南に流れる武庫川支流の 2 級河川。水源の標高 350m、延長 5.056m。源流周辺はかつては里山であったが、昭和 40 年代になって宅地開発が行われ、傾斜地ながら現在は宅地になっているためコンクリート 3 面張りの護岸がなされ、一部暗渠化されている部分がある。途中深い谷の自然地形となり平野部に入る。天満神社の脇を通り、阪急宝塚線、旧 176 号を抜ける。この辺りから天井川となり、JR 宝塚線と交差する。右岸の大阪芸大付近から伊丹市に入り、中国自動車道、国道 176 号バイパスと交差し南進する。付近(宝塚市山本及び伊丹市東野)は植木の栽培が盛んで、左岸の宝塚市山本だけで約 500 軒にのぼる園芸農家や造園会社がある。昆陽池公園北西端で直角に折れ曲り、同公園北辺をなぞりながら西進し、尼宝線と交差する天神橋の東隣、西野 3 丁目付近で天王寺川と合流する。かつては昆陽池を経て玉田川として流れ天王寺川とは別個の川だったが河川改修により天王寺川と合流した。

**伊丹台地と植木産地** 宝塚市山本から南伊丹市東野にかけて伊丹台地と呼ばれる台地が広がっている。太古の時代に淀川(猪名川)と武庫川から運ばれた土砂がこの地区に堆積したものと考えられる。土地が豊かなことから植木の産地となった。埼玉県川口市安行、愛知県稲沢市の 3 箇所を 3 大植木産地としている。福岡県久留米市田主丸を入れ 4 大産地ともいう。

**伊丹市立荒牧バラ公園** 伊丹市荒牧土地区画整理事業で用地を確保し平成元年から 3 年をかけて整備した近隣公園。天井川である天神川の河川堤防を一部占有し、高低差 8m の地形変化を利用した立体的なバラ園。開園は平成 4(1992)年。面積 1.7ha。

**伊丹の水とみどりの散策道(天神川コース)** 伊丹市には「水とみどりの散策道」が 11 個設けられている。荒牧バラ公園から昆陽池公園までの河岸道路は水とみどりの散策道として整備された

**荻野春日神社** 春日大神は藤原氏の氏神であり、藤原氏は大化の改新(645)以降に栄えた。藤原氏は淀川北岸一帯を自家の荘園としたため、この地域に古くからあった多くの神社は藤原氏の氏神が合祀された。この結果現在では淀川北岸のほとんどの神社が春日神を祀っている。伊丹市に坐す春日神社は四社、荻野春日神社・東野春日神社・口酒井春日神社・池尻春日神社がある。

**昆陽池と兵庫県昆陽池公園** 天平年間(8 世紀半ば)僧行基が開いたといわれるため池。窪地となっていたこの地に上池、下池を作ったが、後に下池は埋め立てられて農地となった。上池は現在県立昆陽池公園、伊丹市上水道の貯水池として利用されている。県立公園は野鳥の探鳥会のメッカでもある。

**伊丹市昆虫館** 平成 2(1990)年伊丹市制 50 周年を記念して開館。南方産で日本最大の蝶オオゴマダラなど 14 種の蝶が温室内で飼育されている。

**瑞ヶ池公園(すがいけ)** 奈良時代に築造された大鹿村のため池。主ヶ池から瑞ヶ池となった。現在は伊丹市の上水道源。広さ 19.3ha。池の周囲は 1.6km のトリムランニングコースになっている。公園の周囲は桜の名所で、南側には四季折々の花が咲く花壇、幼児向けの遊具なども設けられている。昆陽池公園と緑ヶ丘公園の間に位置し、伊丹緑地を経て中心市街地に至る水と緑のネットワークの一つに挙げられている。園内には、世界的に有名な桜の名所である**米国ワシントン・ボトマック河畔の桜の子孫樹**・日米友好の桜(里帰り桜)も成長し毎年花を咲かせている。

**緑ヶ丘公園** 平成いたみ八景の一つ。上池と下池を中心にした伊丹市内で最も古い都市公園。下池には伊丹市と国際友好都市である中国の佛山市から贈られた「**亭(ちん)賞月亭**」が水面に映え、そのすぐ近くに日本建築の粋を集めて建てられた**鴻臚館(こうろかん)**がある。また両池に挟まれた丘には梅林があり長らく市民に親しまれていたが「桜の丘」としてよみがえる。

**伊丹緑地** 平成いたみ八景に選ばれ「伊丹緑道」という呼び名で市民に親しまれている散策道。猪名野神社から約 1.4km にわたり伊丹台地に沿って自生の巨木、古木が繁り、国道 171 号線を越えて緑ヶ丘公園へと繋がっている。猪名野神社からおよそ 800m 行くと、旧西国街道に出会い**伊丹坂**、そこから右へ寄り道すると多田街道との交差する所に「**辻の碑**」があり、交通の要所であったことが偲ばれる。また伊丹坂を左へ 30m 程上り更に左に行くと**伝和泉式部の墓**がある。

**猪名野神社** 伊丹郷町の氏神で古くは「野宮」「天王宮」「牛頭天王宮」などと呼ばれていた。戦国時代には荒木村重が居城である伊丹城を総構えを持った有岡城に大改造したが、その際当社は有岡城の総構えの一部として取り込まれた。当社の境内に有岡城最北端の砦である「**岸の砦**」が築かれ有岡城の戦いの際には渡辺勘太夫が守っていたが最後は陥落する。境内に**ムクロジの巨木**、市の天然記念物に指定。

**有岡城跡** 南北朝時代、摂津国の国人であった**伊丹氏**が築城、当時は**伊丹城**と呼ばれ、日本最古の天守台を持つ平城であった。天正 2(1574)年織田信長の配下の武将**荒木村重**は伊丹城に伊丹氏を攻めて追放し、摂津一国の主となる。城は町ぐるみで要塞化した「惣構え」の城として再構築され、「有岡城」と改名される。現在残っている遺構や地割は村重の時代に整備されたもの。しかし村重は天正 6(1578)年に突如として信長に叛旗、約 1 年の攻防の末落城する。その後城は放置され、江戸時代には地元の人から「古城山」と呼ばれる。明治に入り鉄道建設工事のため城跡の東半分を失いました。近年の発掘調査により、その遺構の一部は国の史跡となっている。城跡東側が JR 西日本福知山線の「**JR伊丹駅**」

**阪急伊丹駅** 阪神急行電鉄(現在の阪急電鉄)が 1920 年に神戸本線と同時に開業する。神戸線塚口駅から伊丹駅までを結ぶ路線。JR 宝塚線と並行している。JR は尼崎市・伊丹市では工業地帯の中を走るが、阪急は伊丹市の中心地に近い住宅地を走る。1995 年 1 月 17 日に発生した阪神・淡路大震災で甚大な被害を受け駅舎は倒壊した。その後約 4 年をかけて復興され駅ビルにホームがある現在の構造となった。